

## 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標例

学習指導要領の言語活動の内容を参考にする。

	第1学年	第2学年	第3学年
<b>聞くこと</b> <b>Listening</b> 使用場面など も意識する。	<p>○身近な話題の会話において、他の発言を理解し、あいづちなどを打つことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○身近な話題の会話において、他の発言を理解し、適切なあいづちなどを打つことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○相手の話す内容に応じて適切なあいづちを打つことができる。</p> <p>各学年における「聞く」「読む」「話す」「書く」の到達目標を「～することができる。」という形で設定する。</p>
<b>話すこと</b> <b>Speaking</b>	<p>○【発表】自己や他についての紹介を 30 語程度のスピーチを行うことができる。 (原稿あり)</p> <p>○【会話】ALT とのインタビューで、しっかりと応答することができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○【発表】インタビューした結果やクフノ等を見て要点をしつかり押さえて説明することができる。(原稿あり)</p> <p>○【会話】ALT とのインタビューで、双方向の情報のやりとりをすることができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○【発表】自分が得た情報を、即興で要点をはずさずに伝えることができる。 (原稿なし)</p> <p>○【会話】ALT とのインタビューで、双方向の情報のやりとりを正確な英語で行うことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<b>読むこと</b> <b>Reading</b>	<p>○【内容理解（黙読）】120words 程度の英文を、40wpm 以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。</p> <p>○【音読】1 年教科書本文をゆっくりでも正しく音読することができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○【内容理解（黙読）】160words 程度の英文を、60wpm 以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。</p> <p>○【音読】2 年教科書本文を、発音に気をつけて正しく音読することができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○【内容理解（黙読）】250words 程度の英文を、70wpm 以上のスピードで読み、概要を捉えることができる。</p> <p>○【音読】3 年教科書本文を、発音やリズムに気をつけて感情を込めて音読することができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<b>書くこと</b> <b>Writing</b>	<p>○自分のこと、身近なことであれば、3 文以上の英文を書くことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○自分のこと、身近なことを中心に、4 文以上のつながりのある英文を書くことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>○様々なことについて、5 文以上のつながりのある英文を書くことができる。</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/></p>

※ 生徒の実態に応じて作成する。

○○○○立△△中学校

適切な評価方法を用いて評価できる具体的なものにする。